



○ 本質

私が学生時代、教えていただいていた先生方からよく言われたことばです。

自分で自覚していますが、私は器用です。器用ということはよいことのように使われることが多いですが、実は弱点でもあります。美術・音楽・文学・スポーツ・・・と、様々な学びの分野・職業の分野があります。器用な人間は要領よくすぐに上達しますが、ある段階から伸びが緩やかになります。いわゆる「器用貧乏」ですね。それに対して不器用な人は、最初苦労しますが「自分にはこの道しかない。」という強い意志のもと努力を続ける力があります。そのうち器用な人間は不器用な人に追い抜かされます。“し続けること”は本質をとらえて素晴らしい成果を挙げることができます。自分は不器用だと思っている人、実は強みです。生かしていきましょう。

教員生活でかなり多くの転勤を繰り返してきた私はさまざまな種類の部活動顧問になったり、美術科だけでなく、国語や技術、算数や体育の授業を担当したこともあります。運動部ではルールブックを購入するところから始めて、やっと試合に勝てるようになったところで転勤！ということばかりでした。これをこなすことができたのは器用だったからかもしれません。この点に限っては器用でよかったと今は思っています。

さて、「本質」です。器用な私はなかなか物事の本質に迫ることができません。学生時代「君の創るものはきれいすぎて魅力を感じない。」と、ある教授からきついダメ出しをされたことがあります。それ以来私はいつもこのことばを思い出します。仕事の世界でも趣味の分野でも息詰まったときや悩んだ時には「このことの本質は何だろう。」と考えるようにしています。ごまかしたり、とりつくろったり、避けたりしてしまうと、あとからひどいしっぺ返しに会うでしょう。神様（特定の宗教ではなく）は見ているものです。

学生諸君（自分自身にも）、ものごとの本質を見つめ不器用でも誠実に過ごしていきましょう。いつか立派な花が咲き、素晴らしい果実が生ります。

エントランスホールにある壁面作品
学生たちが作ったこいのぼりが
少しずつ増えていきます。



自校自賛

29年度初めてのOC（オープンキャンパス）を22日（土）に開催しました。学生スタッフとして2年生の相川さん、藤井さん、1年生の有光君が活躍してくれました。今回はものづくりで「こいのぼり」を制作しました。私は直接制作には参加しなかったので、ゆったりと構えていたら「賞をつけてほしい。」という依頼がきてちょっと慌てましたが、どうにか全員の作品に〇〇賞をつけることができました。

参加してくれた高校生の似顔絵を描いてみようかちょっと思いましたが、さすがに初対面では描けません。2回・3回と参加するリピーターになってほしいな。

